

ICTを活用した安全技術「ICT安全」の事例

1枚に1技術を目安に記載願います

発行No
A-28

■ 技術名称 <p style="text-align: center; color: green;">衝突防止支援システム</p>	
■ 基本情報	
発注者	
会社名	
工種 (大項目)	ダム / トンネル / シールド / 造成 / 舗装 / 橋梁 / 構造物 / その他 ()
工種 (小項目)	掘削工
仕様	発注者指定 受注者独自
採用事由	①ICT対象工事 ②技術提案 ③ <u>自主導入</u> ④創意工夫 ⑤その他 (施工協議)
採用目的	<u>災害防止</u> / 危険有害要因の低減 / メンタルヘルス・作業環境の改善 / その他 ()
■ 実施内容詳細 (危険事例や想定だけの場合は本欄の記入は不用。)	
対象数量	工事用車両全般 (工種限定は特になし)
活用ICT	無人化・省人化 / 人・行動センシング 機械センシング / その他能力支援 ()
システム業者	西松建設株式会社 (株式会社アカサカテックとの共同開発)
導入効果・検証 (1)	走行経路上で事故や通行止め情報等を管理アプリケーションから搭載車へ通知出来ることできる。
導入効果・検証 (2)	リアルタイムで位置情報や警報を取得、転送することで、運搬経路上に存在する潜在的危険要因を可視化することが可能となり、より明確なKYマップが作成できる。
導入効果・検証 (3)	管理用アプリケーションを使用することによりインターネットへの接続環境があればどこからでも運行状況を管理できる。

作成者氏名

連絡先(アドレス)

■ 参考図・写真

クラウド (専用サーバー) ↔ 4G ↔ 運行管理システム用スマートフォン ↔ Bluetooth ↔ ダンプトラック (衝突防止補助システム)

監視項目 (ダンプトラック):

- 前方車両衝突
- 歩行者検知
- 車線逸脱
- 速度超過
- 前方車両距離

■ 欲しい安全機能、改善したい機能

・車間距離、歩行者検知といった各種の検知機能について、まれに誤検知が発生することも確認させているので、システム本体の精度向上、取付け方法の改善等が必要と考える。

■ 課題・要望事項